

# 水田たより 11月号

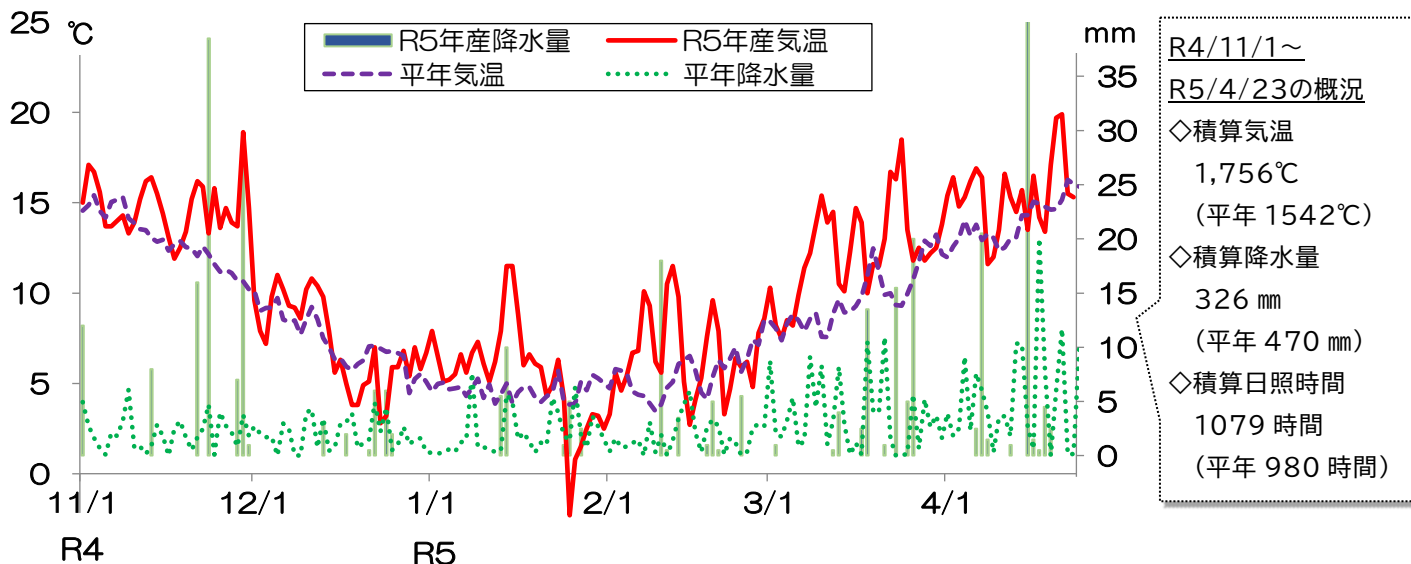
令和5年11月1日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

麦

## 令和5年産の振り返り



令和6年産麦に向けて、令和5年産の気象や雨量について振り返りを行いましょう。令和5年産は、平年に比べて気温が高く、降水量が少なくなりました。気温が高かったため、麦の生育が早く進み、凍霜害予防のため、麦踏などを行って頂いたかと思えます。令和6年産についてもエルニーニョ現象の影響により、気温が高くなると予想されています（10月11日気象庁発表）。また、1か月予報（名古屋地方气象台1か月予報、R5.10.26発表）でも、気温が高くなると予想されており、品種に合わせて適期に播種しましょう。

麦

## 令和6年産の播種作業

### ○播種適期

ファイバースノウ ⇒ 11月上旬

あやひかり ⇒ 11月上中旬

さとのそら ⇒ 11月中旬

初期生育の確保が、収量・品質の向上に繋がります！**播種が遅れないよう**計画しましょう。

- ・降雨によって作業が遅延する恐れがあるため、**適期の早めに播種を開始**する。
- ・面積が大きく播種に日数を要する場合は、**作業ピークが適期に収まるよう調整**する。

※早すぎる播種は、生育の前半で過繁茂となり、生育の後半で肥切れしてしまうため、倒伏や減収の危険があります。今年は**暖冬と予想されるため、早播きしすぎないように注意**してください。

### ○播種量

上記の播種適期に播種する場合、**適正な播種量は 8 kg/10a** です（条播き、条間 25cm の場合）。**播種が遅れてしまった場合は、播種量を増やして**生育量を補います。

・ 11 月下旬以降は播種が 10 日遅れるごとに 1 kg/10a の増量が目安です。

## 大豆

### 汚損粒対策について

大豆の収入には生産物自体の価格による収入（品代）に加えて、「畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）」による収入があります。直接支払交付金のうち、数量払は等級が低いと支払額が低下し、規格外になると数量払は支払われなくなります。

<10a あたり大豆の数量払の交付金（収量は 60kg/10a として計算）>

品質区分（等級）	1 等	2 等	3 等
価格	10360 円	9670 円	8990 円

※令和 5～7 年産畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)の交付単価(農林水産省)より

1 等と 2 等では 10a あたり **690 円**、1 等と 3 等では 10a あたり **1370 円**もの差が生じます。等級が下がる大きな原因の 1 つが汚損粒です。汚損粒発生防止のため、以下のような対策を取りましょう。

### ○雑草や青立ち株の除去

大豆の難防除雑草として問題になっているアサガオ類、ケイトウ類、ホオズキ類は大豆が成熟期になっても子実や茎に水分を含んでいるため、収穫時に汁が大豆に付着し、汚損粒の原因となります。収穫前に手取りによって雑草を抜き取り、ほ場の外へ持ち出しましょう。翌年の雑草抑制にもつながるので、しっかり除草しましょう。また、青立ち株も汚損粒の原因となるので、収穫前に抜き取り、ほ場の外へ持ち出しましょう。



マルバルコウ（アサガオ類）



ノゲイトウ（ケイトウ類）



フウリンホオズキ（ホオズキ類）

### ○適期収穫

早刈りすると、子実や茎の水分が高いために収穫時の汚損粒の発生原因となります。子実の水分が 18%以下、茎の水分が 50%以下が収穫適期です。茎が茶色っぽくなり、手で折るとポキとした感触がある程度が目安です。一方で、遅刈りすると裂莢しやすく収穫ロスが生じますので、適期に収穫するよう心がけましょう。朝露や夜露も汚損粒の原因となるので 10 時から 16 時ころに収穫しましょう。

### ○土の掻き込み対策

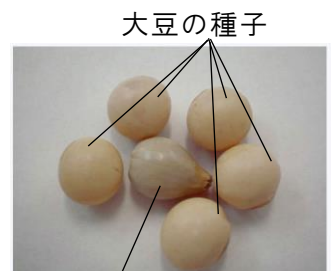
収穫中に土を掻き込むと汚損粒の原因となります。刈高を目安 10cm 以上にして、土を掻き込まないようにしましょう。土が刈り取り部に入った場合は作業を中断し、刈り取り部の清掃を行いましょう。

### ※ジュズダマの混入について

ジュズダマは種子が大豆の種子と色が似ており、色彩選別機で除くことができません。食品に混入することが問題になっています。ジュズダマを見かけたら収穫前に抜き取りましょう。



ジュズダマ



大豆の種子  
ジュズダマの種子

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページで  
ご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索